

平成28年度事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

ウィング練馬居宅介護支援事業所

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

みさよはうす土支田は、平成 22 年 4 月開設以来、ご利用者一人ひとりの個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスをモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛される特別養護老人ホームとして順調に推移致しているところです。

平成 28 年度におきましては、施設全体の稼働率は、利用者のニーズに的確に応える努力をしましたが、年間を通じ 99.65%（別表 7）となっています。

今年度も職員一丸となり、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を目指します。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 28.9 人あった。28 年度の新規入所者は 4 名、退所者は 5 人で、理由は、病気入院による退所が 5 人であった（表 1）。また、平均年齢は、男性 89.6 歳 女性 88.1 歳、全体で 88.2 歳であり、要介護度の平均は、男性 4.2、女性 3.8、全体で 3.9 となっている。入所者の高齢化、重度化の傾向が見て取れる（別表 1～3）。

《表 1》特養退所者の状況

No.	性別	年齢(退所時)	退所月	退所理由
1	女	100 歳	平成 28 年 10 月	病院入院
2	女	93 歳	平成 28 年 10 月	病院入院
3	女	90 歳	平成 28 年 11 月	病院入院
4	女	86 歳	平成 29 年 2 月	病院入院
5	女	81 歳	平成 29 年 3 月	病院入院

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。なお、平成 28 年度末現在で、食事介助を必要とする人が 8 名、食事形態別では、常食 8 名、一口大 7 名、きざみ食 4 名、ごくきざみ食 8 名、ミキサー食 4 名となっている。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、平成 28 年度末現在、特浴(9 名)、チェア浴 (13 名)、一般浴 (6 名) の 3 機種の中からより安全な入浴方法を選び、週 3 回の入浴を実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1 日 6 回の定時交換のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月 1 回の体重測定
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握

(5) 健康管理

嘱託医による週 1 回の内科往診および月 2 回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者 1 人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9 月に健康診断を実施。10 月から 11 月にかけて、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。11 月は、希望者のみ肺炎球菌ワク

チン接種を実施した。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員のうち、うがい、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した。

(6) 機能訓練

①機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、理学療法士（非常勤）および言語聴覚士（非常勤）等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したリハビリを実施した。

特に、理学療法士は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体の様子を確認しながらリハビリを行い、計画の変更があれば、介護職にもポイントを指導した。併せて、車イスやベッドでのポジショニングについても、指導した。また、言語聴覚士は、個別に話す、聞く、食べることについて指導し、集団で口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施した。

②27年度から、歯科医師による口腔ケアを週1回開始している。

(7) レクリエーション

月1回の誕生会、その他、カラオケ（童謡、懐メロ）、公園への散歩、お化粧、お茶会、ボーリング、風船バレー、棒体操、ぬり絵、折り紙、映画鑑賞など、入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》 年間行事

4月	お花見（14名参加） 和光樹林公園の桜見物して、春を満喫された。
5月	菖蒲湯 端午の節句（こどもの日）の入浴時、菖蒲の香りでリラックスされた。（20名参加）
6月	利用者と職員合同でカラオケ大会を開き、交流を図った。
7月	七夕の日に、大島花子さんが来所されて、七夕の唄や懐かし童謡、故坂本 九さんのヒット曲を披露されました。プロの歌手の歌声に、皆さん感動されていました。
8月	練馬清掃工場見学 建て替えられた工場内で、ゴミが次々と処理されていくのを、驚きの表情で見っていました。（2名参加）
9月	敬老会 職員手作りのカードをプレゼント。また、米寿のお祝いが練馬区より届き、2名の方に施設長から贈呈されました。（18名参加）
10月	ハロウィンパーティを兼ねた誕生日会 誕生日月の利用者3名にプレゼント贈呈
12月	クリスマス会 クリスマス音楽を流しながら、サンタクロースの衣装を着た職員とツーショットで撮ったり、楽しいお話などで盛り上が

	った。(19名参加)
1月	お正月の獅子舞 職員が自作の獅子頭を被り、獅子舞を披露。一年無病息災を祈って利用者の頭を噛むと、合掌されたりして大変喜ばれた。(20名参加) 書初め会の実施 (8名参加)
2月	節分の豆まき 本物の豆は痛いので、タマゴボーロを代用して豆まきをした。鬼の面を被った職員が投げた豆を避けるのに逃げ回ったりして盛り上がった。(20名参加) 外食お茶会の実施 (5名参加)
3月	ひな祭り 雛人形の飾り付けをして、雛あられを食べながら職員と談笑した。(19名参加) 外食お茶会の実施 (4名参加)

《表3》 ボランティアによるレクリエーション

NO.	内容	日時	出演者等(敬称略)	参加者数
1	大島花子ショー	平成28年7月7日 13:30~14:30	大島花子	30人
2	山吹恭子ショー	平成28年8月2日 13:30~14:30	山吹恭子	28人
3	山吹恭子ショー	平成28年12月18日 13:30~14:30	山吹恭子	29人

※参加者数は利用者家族を含む。



山吹恭子ショー



大島花子ショー

4 家族等との連絡調整等

小規模な施設の特性を活かし、ご家族が来所された際には、個別に利用者の現況を伝え、情報共有に努めた。また、来所のあまりないご家族には、季節の節目には、連絡を入れ、現況を伝えるようにした。

・その他

ご面会者数 のべ 2,522 人 (1 日平均 6.9 人)

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的 to開催し、利用者のケア等について検討した。

《表 4》

委員会名	内 容
①栄養委員会	利用者の栄養ケアに関すること
②感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関し、ノロウイルス、インフルエンザ、手洗いうがいの励行について。
③褥瘡対策委員会	褥瘡の予防、処置等に関し、おむつ交換、体位交換、皮膚の洗浄の必要性について
④身体拘束廃止委員会	利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関することについて
⑤事故防止委員会	利用者等にかかる事故の防止に関することについて
⑥防災・安全対策委員会	災害防止及び災害時の対応等に関すること
⑦リハビリ委員会	個別機能訓練等の検討等に関すること
⑧レクリエーション委員会	利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること
⑨ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用、登録等に関すること
⑩入所判定委員会	入所者の選定に関すること
⑪職員会議	施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等
⑫安全衛生委員会	職員の労働環境、健康管理の確保等
⑬研修委員会	全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること

6 職員研修

年間を通じて、練馬介護人材育成・研修センター(練馬区社会福祉事業団)が開催する研修に積極的に参加した。

また、集合研修がしにくいシフト制職場というデメリットを補うため、同一内容を時間差で実施したり、DVDを活用する等の工夫を行った。

《表5》

No.	名称	開催日	人数	備考
1	おむつ研修	平成28年4月11日	15名	職場内研修
2	感染症・食中毒の予防	平成28年4月15日	2名	練馬介護人材育成・研修センター
3	介護の仕事の心得	平成28年4月15日	2名	練馬介護人材育成・研修センター
4	個人情報保護	平成28年4月15日	2名	練馬介護人材育成・研修センター
5	普通救命研修	平成28年7月5日	1名	光が丘消防署
6	高齢者権利擁護研修	平成28年8月1日	1名	福祉保健財団
7	ストレス対策	平成28年8月22日	1名	法人研修
8	ケアマネジメント質の向上	平成28年8月29日	1名	練馬区介護保険課
9	感染症対策指導者養成研修	平成28年10月11日	1名	福祉保健局
10	国際福祉機器展示会	平成28年10月12日	1名	職場内研修
11	介護施設のリスクマネジメント	平成28年11月7日	7名	職場内研修
12	事故防止と対応	平成29年1月9日	6名	職場内研修
13	拘縮予防・改善を実現する	平成29年2月14日	1名	練馬介護人材育成・研修センター

7 ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿って、ボランティアの利用を図っている。平成28年度は、テレビ朝日福祉文化事業団の協力を得て、「大島花子」さんによる、七夕歌謡ショーを開催した。また、舞台上で活躍されている「山吹恭子」さんの歌謡ショーも、2回開催することができた。

8 実習生の受け入れ

平成25年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。平成28年度は、小学校および中学校教諭の教員免許状の取得を希望する学生を、介護等体験の実習生として、7名を受け入れた。

9 職場体験事業希望者の受け入れ

東京都福祉人材センターが主催する職場体験事業について、実習生として、1名を受け入れた

10 インターンシップの受け入れ

介護業界、介護機器および福祉政策などに関心があり、自分なりの目的を持って主体的にプログラムに参加し、成長したいと考えている大学等の学生を受け入れている。平成28年度は、応募者がいなかった。

11 介護ロボットの導入

以下の介護ロボットを導入し、利用者の事故防止のための見守りと介護労働の負担軽減に役立てた。

- (1) 眠りスキャン（睡眠・覚醒と在床・離床の見える化により、介護者の精神的負担を軽減）

平成28年11月 16台 導入

- (2) アウルサイト福祉用（赤外線センサーによりベッド上の被介護者を非接触・無拘束で見守り、被介護者が危険な状態に至った時に、通報する）

平成29年3月 8台 導入

- (3) エーアイセンス（被介護者の危険動作の予兆を、端末を通じて介護者がしることができるので、危険発生前に適切な対応を取ることができる）

平成29年3月 9台 導入

※本器は、研究事業で使用したものを、活用した。

12 研究事業

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の主催する「ロボット介護機器開発に関する調査」に参加し、コミュニケーションロボットを介護分野で用いるにあたり、必要な要素を明らかにする実証試験の一翼を担った。

【使用ロボット】

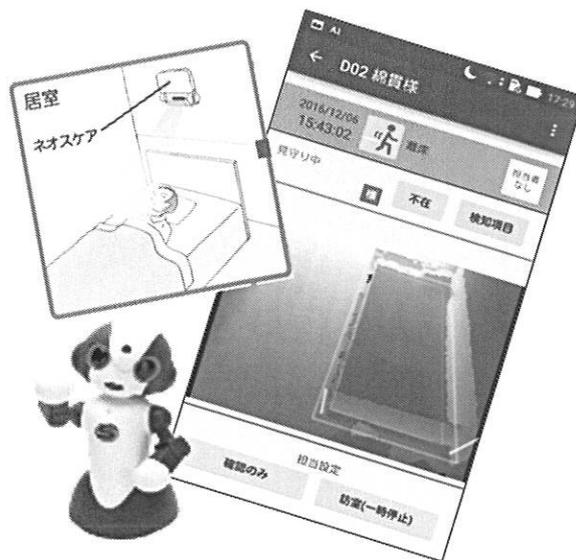
- | | |
|-------------|------|
| (1) パルロ | 9 台 |
| (2) エーアイセンス | 9 台 |
| (3) ロボホン | 12 台 |



《パルロ》



《ロボホン》



《エーアイセンス》

13 地域貢献（連携）

(1) 東京子育て応援事業

平成 28 年 9 月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営をした。原則として、毎月第二土曜日に開催し、延参加者数は、45 名

(2) 災害対応

① 防災訓練

橋戸小避難拠点運営連絡会が主催する防災訓練に参加し、大災害に見舞われた際に、地元町会等と相互に連携が図れるようにした。

- ・日 時 平成 28 年 9 月 25 日（日）
- ・会 場 橋戸小学校校庭
- ・訓練項目 救命講習、炊き出し、初期消火、煙体験

② 防災協定の締結

橋戸町会と相互扶助の精神に基づき、火災その他の災害が発生した場合、双方が力を合わせて、災害による被害を最小限度に防止することを目的として、平成 28 年 12 月 15 日付けで締結した。

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員 2 名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数は、男性 38 名、女性 70 名、合計 108 名で、前年度比 36 名減であった（別表 5）。これは、ショートステイを長期に利用された方と繰り返し利用される方が、増えたことによる。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性 83.2 歳、女性 87.8 歳、全体 86.4 歳だった（別表 4）。また、要介護度の平均は、男性 4.2、女性 3.8、全体 3.9 だった（別表 6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。

特養・ショート合計の年間利用率は、99.65%だった（別表 7～8）。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツウ・ドアの送迎サービスを行った。

(3) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週 3 回実施。

②ショートステイ利用者のうち、長期間定期的に利用される方については、27 年度から機能訓練指導員による個別機能訓練を実施した。

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

ウイング練馬居宅介護支援事業所

利用者が自らの能力を最大限に発揮し、居宅において自立した生活ができるよう、在宅生活継続に必要な支援を行った。

利用者・家族の意向を踏まえ、居宅サービス計画書を作成し、その計画書に従ってサービスが提供されるように多種多様の事業者と調整し、事業者が効率的なサービスを行い、利用者が在宅での生活を継続できるよう支援を行った。

なお、諸般の事情から、事業所は平成28年8月末で事業を休止し、利用者については、新とみに併設するウイング居宅介護支援事業所に引き継いだ。

平成28年度 給付管理サービス 明細書

給付管理サービス作成件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月～3月	合計
	1	1	1	1	1	1	休止
サービス名 短期入所	1	1	1	1	1	休止	5

(別表1)

<年度末平均年齢>

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	2名	89.6	87～93
女	28名	88.1	80～97
(全体)	30名	88.2	80～97

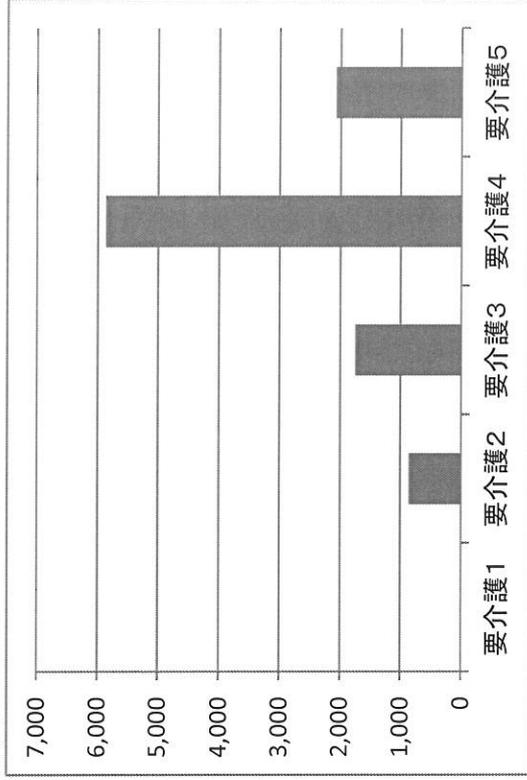
(別表2)

<月別利用者の状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	90	93	90	93	93	66	38	60	62	62	56	56	859
要介護3	120	124	120	124	124	120	124	165	186	186	168	189	1,750
要介護4	476	517	510	517	508	485	542	450	489	488	453	434	5,869
要介護5	180	186	180	186	180	150	155	165	186	186	140	186	2,080
計	866	920	900	921	905	822	859	840	924	922	817	865	10,561
要介護平均	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9
実人員	29	30	30	30	29	27	28	28	30	30	29	28	348
延べ定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
1日平均利用者数	28.9	29.7	30.0	29.7	29.2	27.4	27.7	28.0	29.8	29.7	29.2	27.9	28.9
稼働率	96.22%	98.92%	100.00%	99.03%	97.31%	91.33%	92.37%	93.33%	99.35%	99.14%	97.26%	93.01%	96.45%

(注) 本表では、在籍日数により算出しています。

(別表3)



(別表4)

<年度末平均年齢>

	性別	人数	平均年齢	年齢分布
(シヨートステイ 介護予防含む)	男	3	83.2	77～80
	女	8	87.8	60～95
	(全体)	11	86.4	60～95

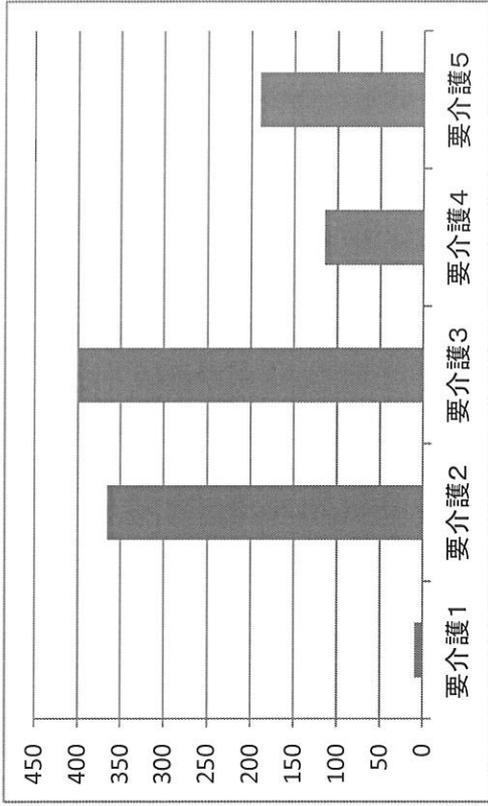
(別表5)

<月別利用者の状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シヨートステイ(介護予防含む)(定員2名)													
要支援1													
要支援2													
要介護1	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9
要介護2	2	24	23	28	32	35	53	24	40	32	31	42	366
要介護3	33	38	32	31	24	32	57	39	0	18	33	62	399
要介護4	23	0	0	2	14	0	10	24	27	11	0	4	115
要介護5	29	17	11	10	26	19	13	31	5	8	15	6	190
計	87	82	69	74	96	86	133	118	72	69	79	114	1,079
要介護平均	3.7	2.8	2.7	2.8	3.4	3.2	3.2	3.3	3.0	3.0	3.4	2.9	3.1
実人員	6	12	9	8	8	7	13	10	5	8	11	11	108
延べ定員数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
1日平均利用者数	2.9	2.6	2.3	2.4	3.1	2.9	4.3	3.9	2.3	2.2	2.8	3.7	3.0
稼働率	145.00%	132.26%	115.00%	119.35%	154.84%	143.33%	214.52%	196.67%	116.13%	111.29%	141.07%	183.87%	147.81%

(注)本表では、退所日は日数には含んでいません。

(別表6)



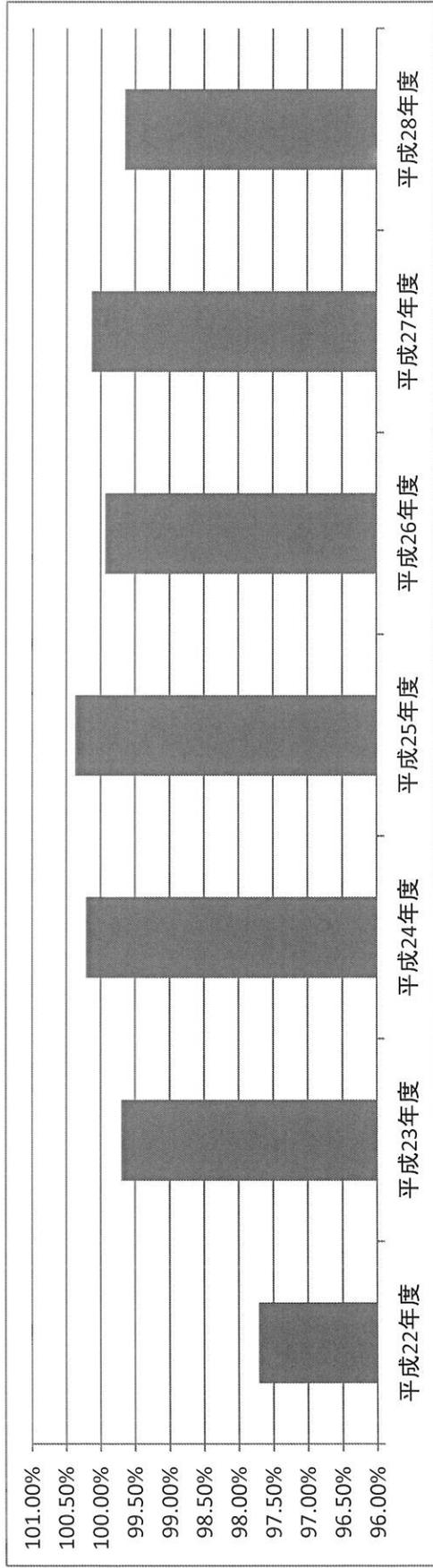
(別表7)

〈月別稼働率〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養・ショート(定員32名)	866	920	900	921	905	822	859	840	924	922	817	865	10561
ショートステイ	87	82	69	74	96	86	133	118	72	69	79	114	1079
計	953	1002	969	995	1001	908	992	958	996	991	896	979	11640
延べ定員数	960	992	960	992	992	960	992	960	992	992	896	992	11680
稼働率	99.27%	101.01%	100.94%	100.30%	100.91%	94.58%	100.00%	99.79%	100.40%	99.90%	100.00%	98.69%	99.65%

(注)本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



稼働率

年度	稼働率
平成22年度	97.71%
平成23年度	99.70%
平成24年度	100.21%
平成25年度	100.37%
平成26年度	99.93%
平成27年度	100.13%
平成28年度	99.65%